

2024年3月期 第2四半期 決算説明

2023年10月27日
日野自動車株式会社

23年度 第2四半期 決算トピックス

2Q(4月-9月) 実績

通期 見通し

販売台数

グローバル販売台数

65.5千台

前年同期比
▲11.2%

・国内 18.9千台 <▲1.2%>

A09C出荷再開も小トラ減

・海外 46.6千台 <▲14.8%>

アセアン市場減速

グローバル販売台数

138.0千台

<下期 72.5千台>

前年比
・国内 40.0千台 <+10.6%>

E13C/A05HC 出荷未定

前年比
・海外 98.0千台 <▲9.6%>

アセアン市場減速

営業利益

68億円

前年同期比
▲59.3%

・国内出荷再開、為替により黒字確保

・材料市況、固定費増により減益

10億円

<下期 ▲58億円>

・アセアン市場の更なる減速

・固定費効率化等により黒字確保

特別損益の状況

国内認証

▲147億円

・顧客、仕入先等への補償

▲265億円

<下期 ▲118億円>

・23年度内に概ね完了予定

北米認証

▲347億円

・クラスアクション和解成立

▲347億円

<下期 - >

・下期未定
(現地当局と継続協議)

資産活用

+566億円

・日野工場西側土地売却(502億円)

・保有株式の売却促進(64億円)

+690億円

<下期 +124億円>

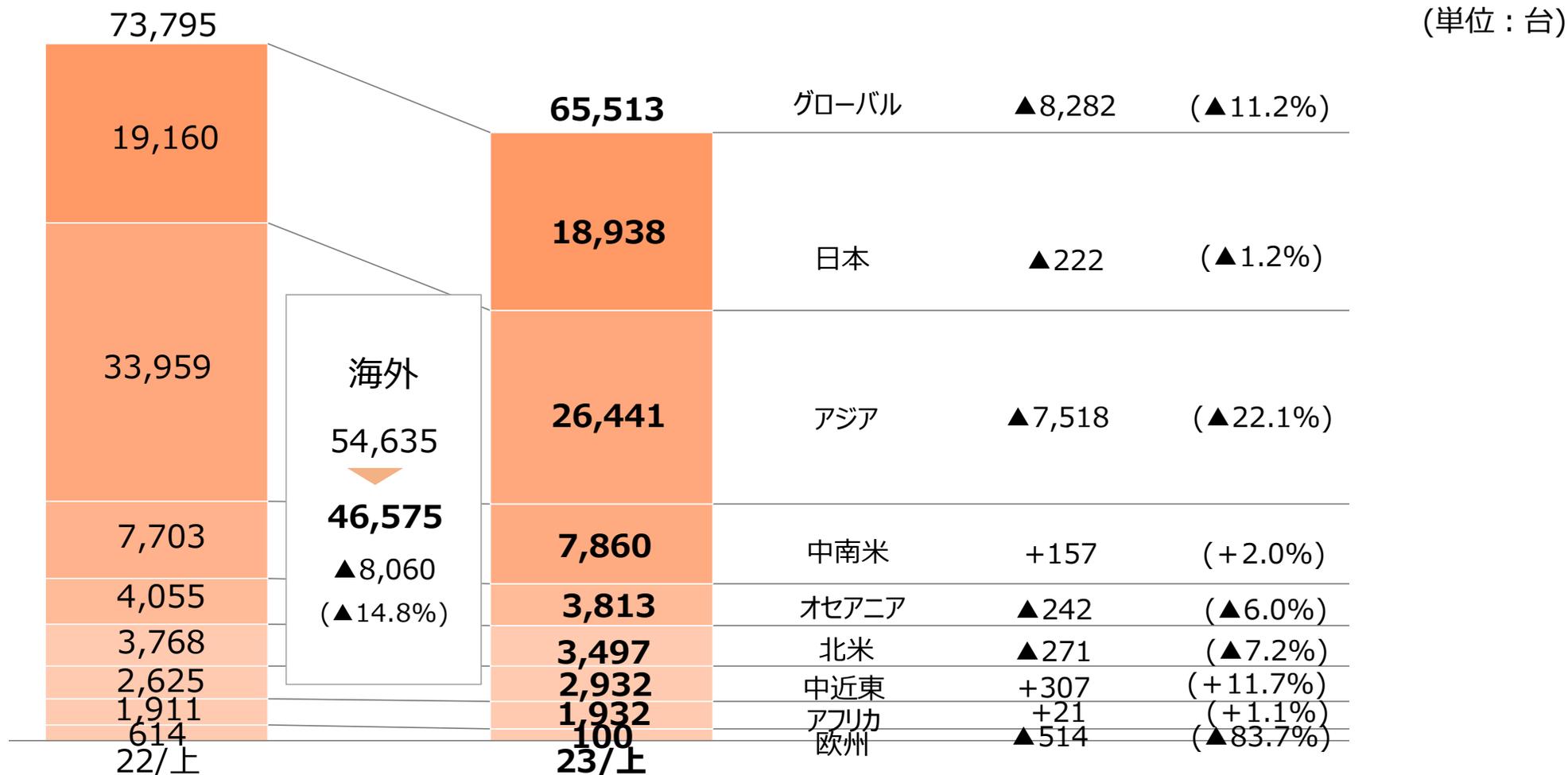
・保有株式追加売却見込む
(その他資産活用を継続検討)

1)23/上期 実績

2)23年度 通期見通し

グローバル販売台数（地域別総台数）

- ・グローバル販売台数は 65.5千台、前年比 ▲8.3千台（国内 ▲0.2千台、海外 ▲8.1千台）。
- ・海外は各国経済の減速に加え、供給問題が影響し、アジアを中心に前年比減。

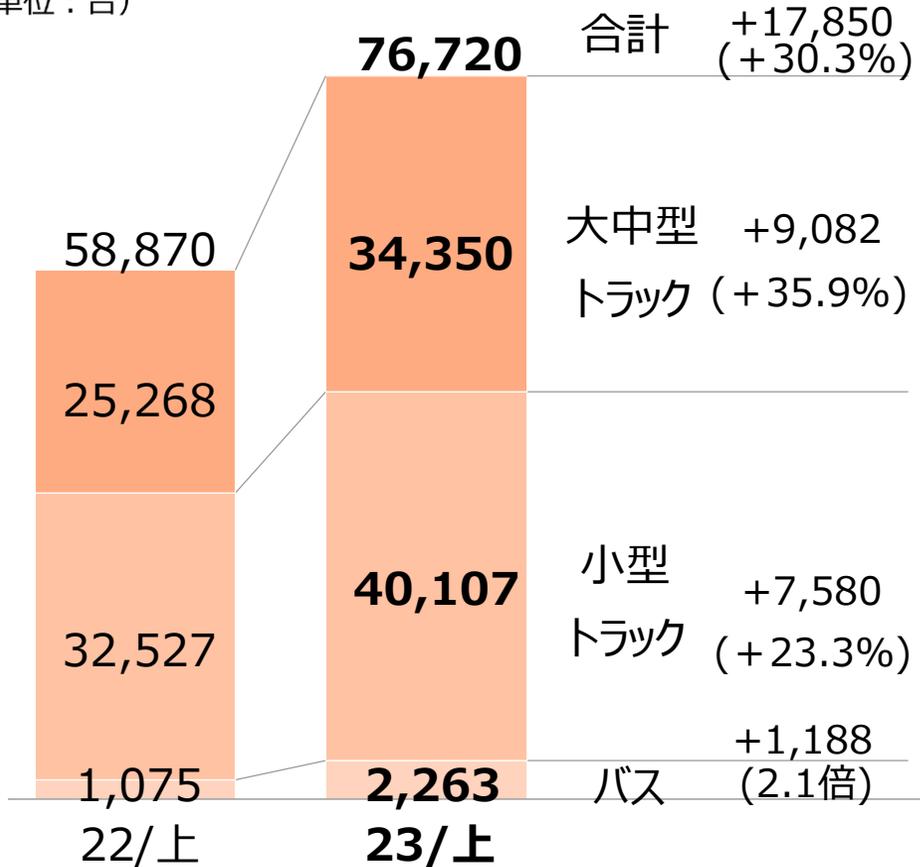


国内トラック・バス市場の状況

各社販売計：半導体等、部品供給の改善に伴う各社生産の回復により、前年比 +30%増。
 日野販売：大中型トラックは、一部車種の出荷再開により前年比台数増も、架装生産制約により全体としては前年比微減。

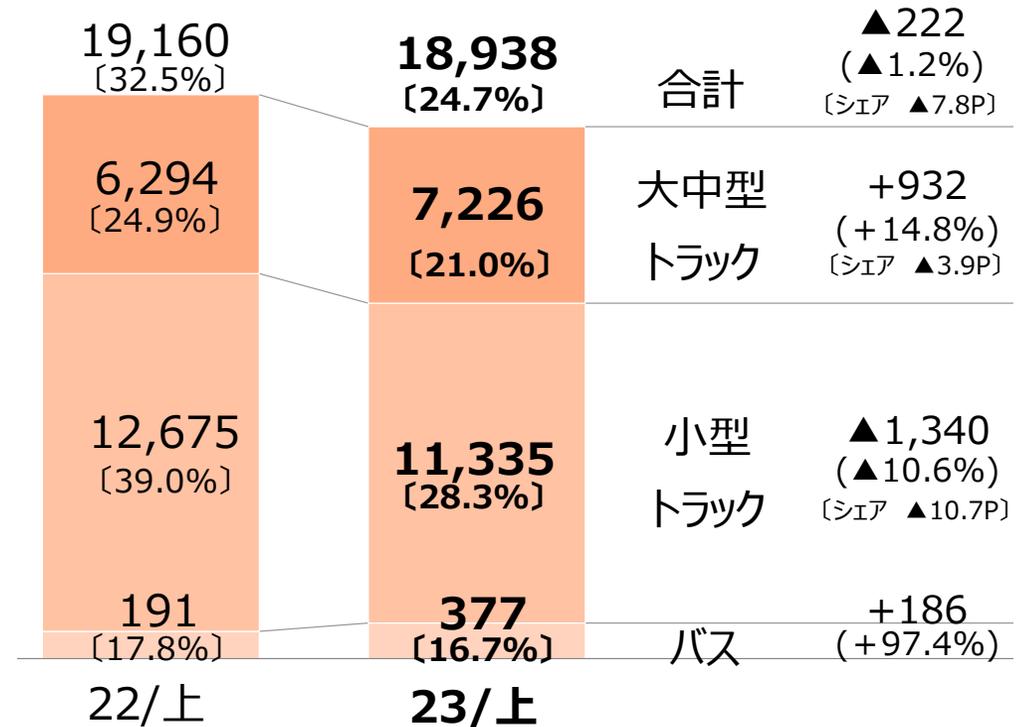
各社販売計

(単位：台)



日野販売〔シェア〕

〔 〕はシェア、()は対前年増減率
 (単位：台)



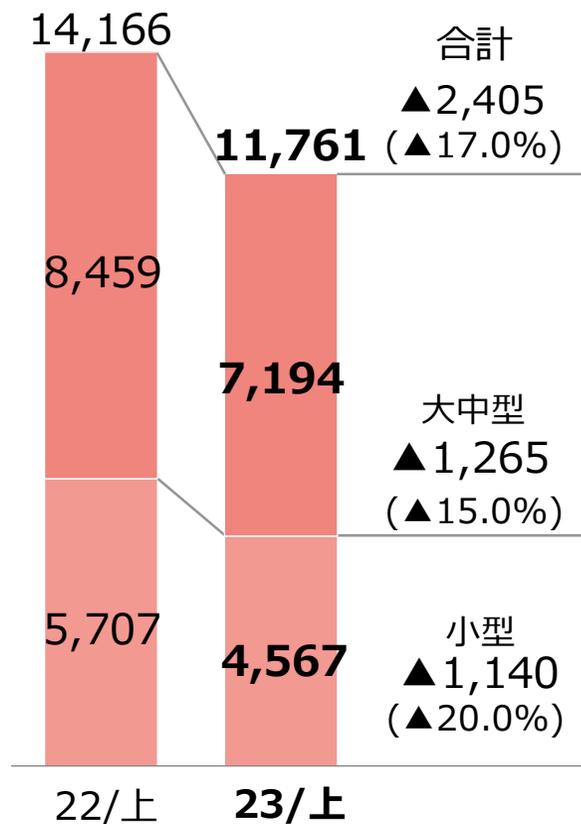
インドネシア・タイ販売台数

インドネシア：大中型は資源価格低迷の影響、小型は需要減退により、前年比減。

タイ：5月総選挙後の新政府の動向様子見、足元ではローン審査厳格化により需要減退。

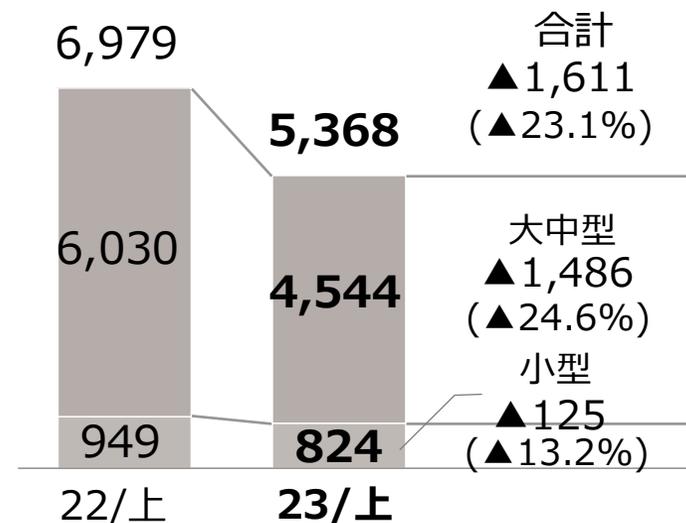
インドネシア

(単位：台)



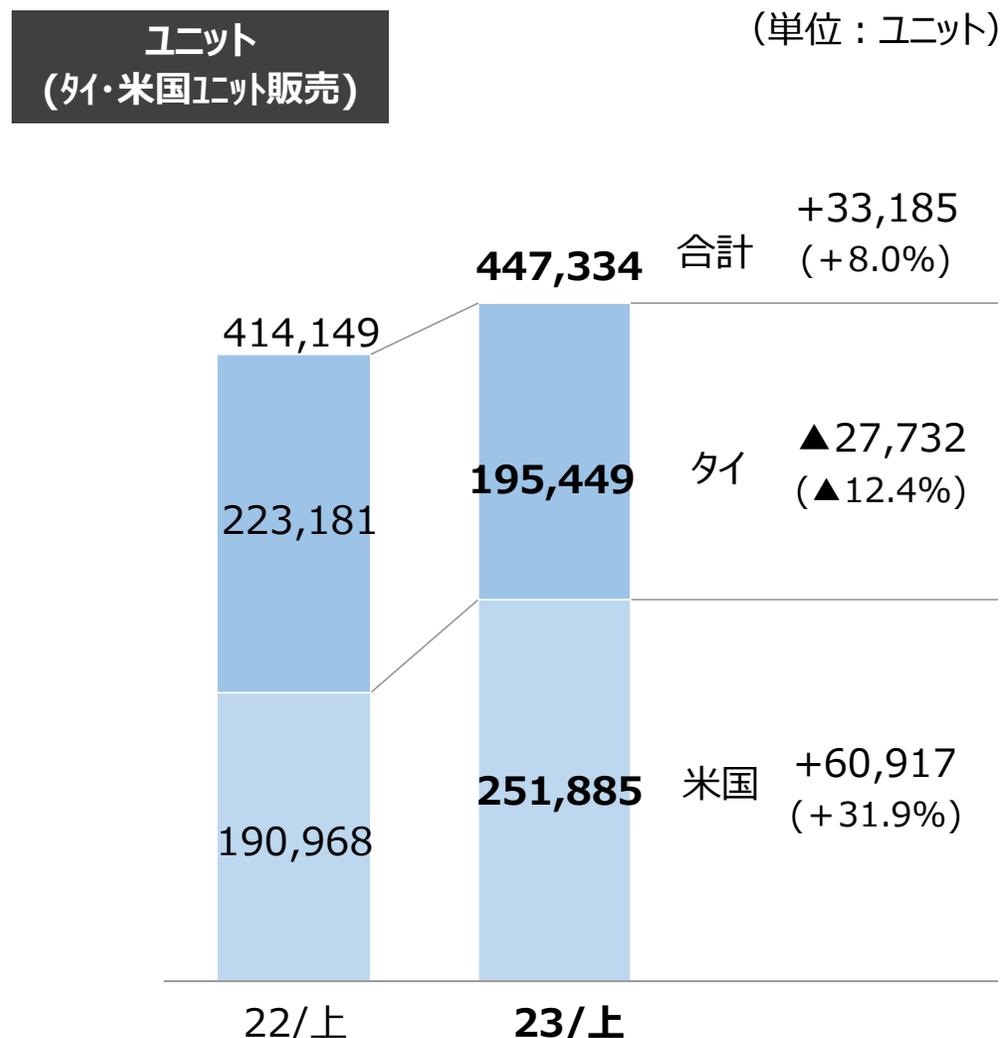
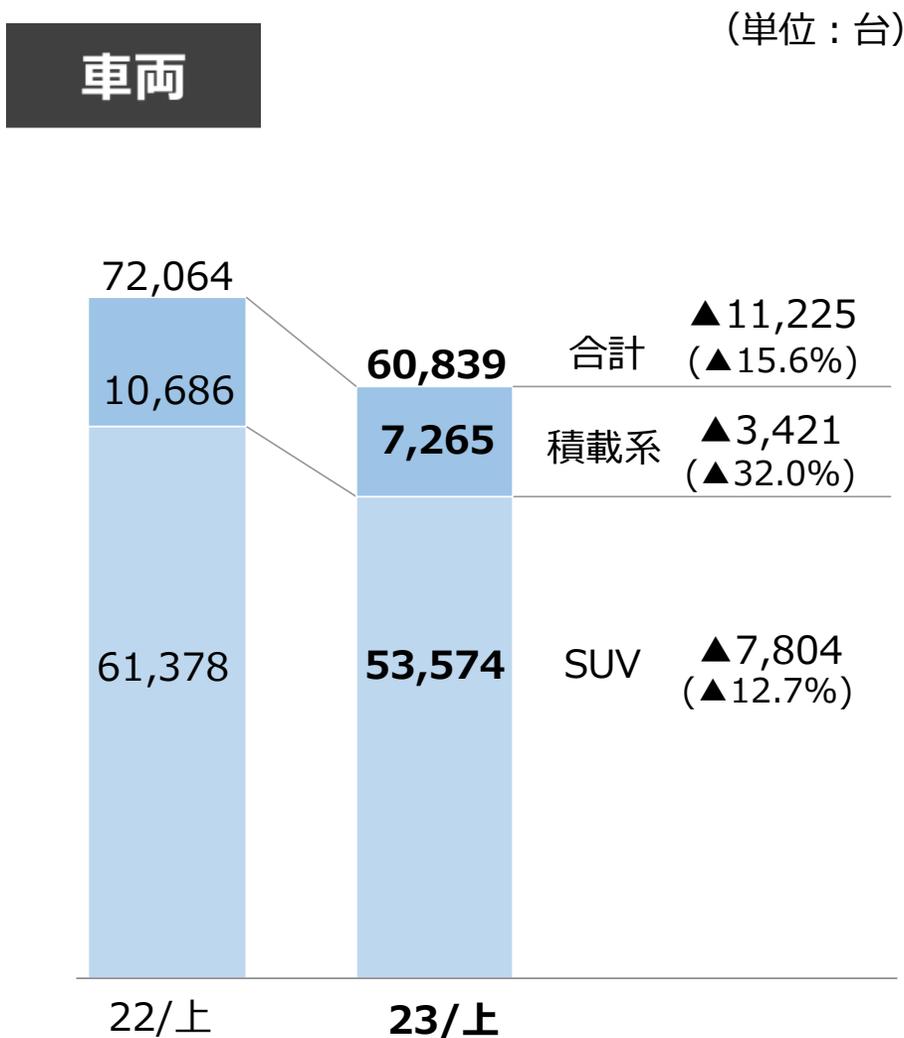
タイ

(単位：台)



トヨタ向け車両・ユニット売上

- ・車両 : トヨタからのユニット部品供給影響により、台数減。
- ・ユニット : 北米は、前年の半導体不足による生産調整の解消により、大幅増。



連結損益の状況

(単位：億円)

科目	23/上	22/上	増減	増減率
売上高	7,554	7,334	+220	+3.0%
営業利益	(0.9%) 68	(2.3%) 166	(▲1.4p) ▲98	▲59.3%
経常利益	(0.8%) 63	(2.8%) 205	(▲2.0p) ▲142	▲69.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	(0.0%) 1	(0.5%) 35	(▲0.5p) ▲34	▲97.8%

() は、売上高利益率

■ 連結売上台数

(単位：台)

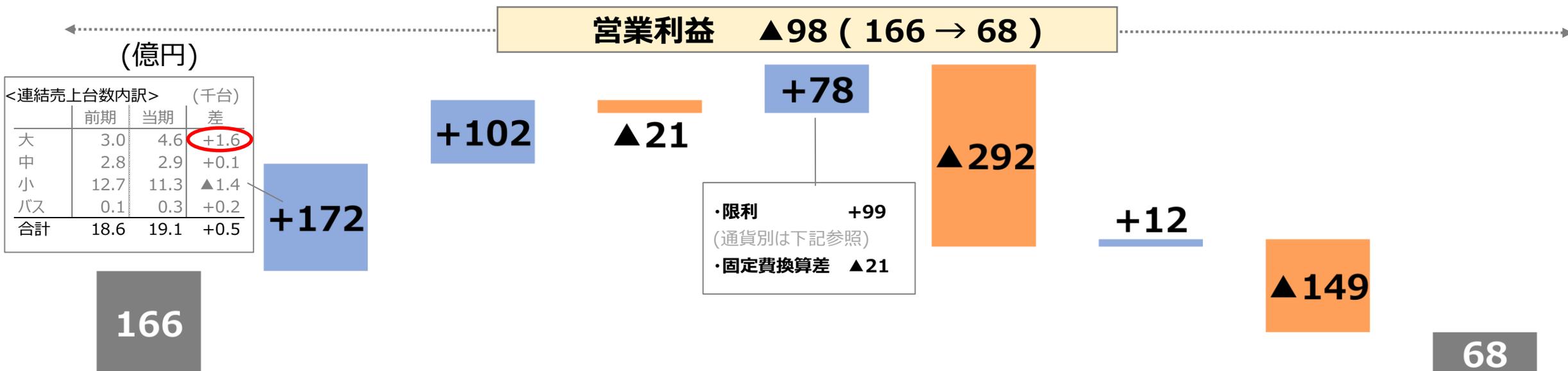
	23/上	22/上	増減
国内	19,132	18,628	+504
海外	48,275	55,758	▲7,483
トヨタ	60,839	72,064	▲11,225

■ 為替レート

	23/上	22/上
USD	139	132
THB	4.03	3.76
IDR (100)	0.93	0.89
AUD	93	93

連結営業利益の変動要因 [対 前期実績]

・A09出荷再開に伴う国内大トラ増/円安により増益も、市況悪化(前年波及) 及び 固定費増加が大きく前年比減益。

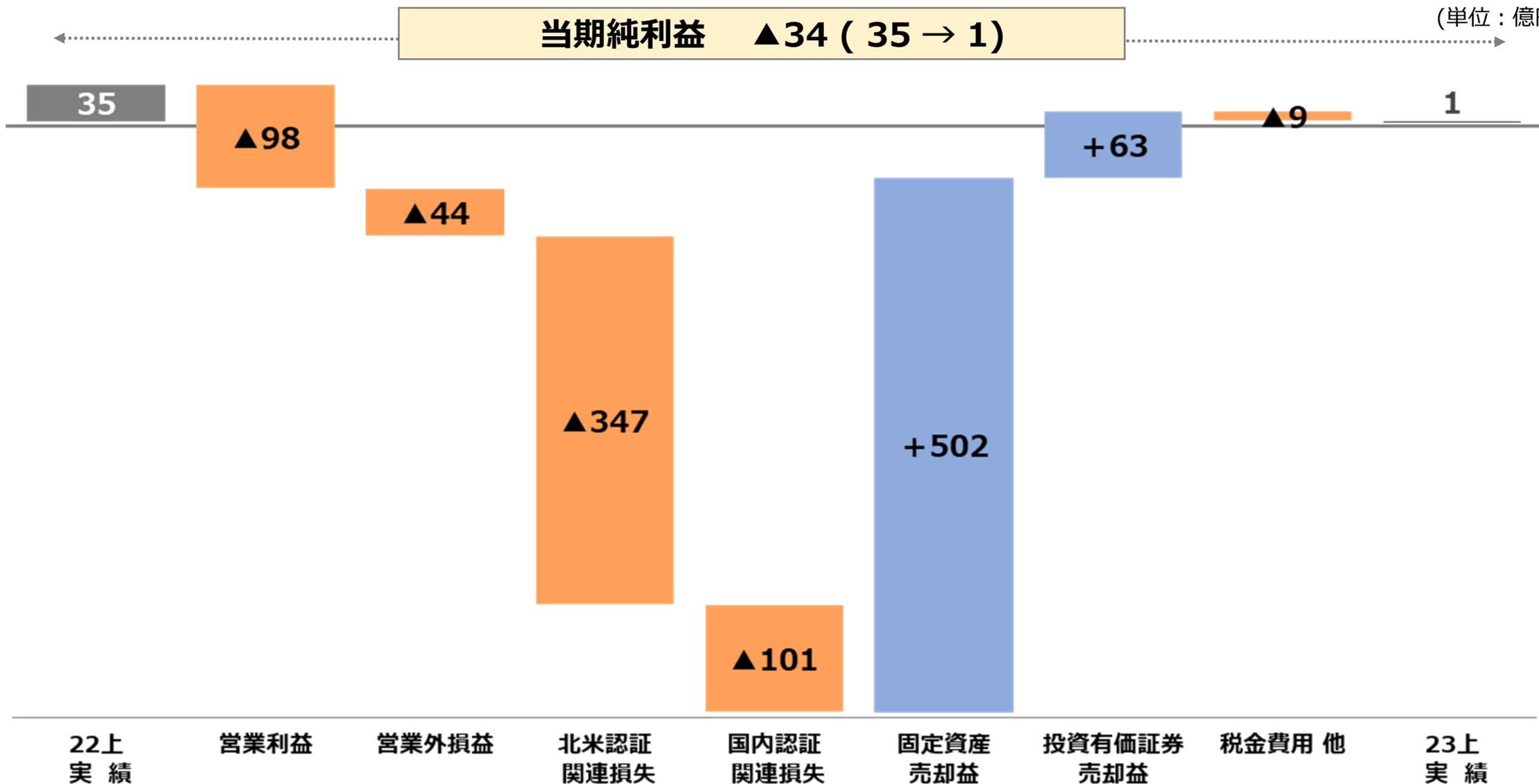


22/4-9 実績	国内	海外	トヨタ 他	為替	市況	原価改善	原価・諸経費の増減	23/4-9 実績
	販売面の影響			環境面の変化				

国内	海外	トヨタ他	為替	市況	原価・諸経費の増減
車両 (内訳上記掲載)	台数 ▲84	車両 ▲19	USD <132 → 139> +30	材料 ▲297	<一時費用> ▲102
TS	価格(新規/波及) +158	海外工口 ▲20	IDR <0.89 → 0.93> +21	物流 +6	<継続費用> ▲28
	TS +28	仕入先他 +18	THB <3.76 → 4.03> +38	工礼キー ▲1	品質(北米保証延長) ▲40
			AUD <93 → 93> -		お客様対応(車検代等) ▲16
			TWD <4.32 → 4.44> +3		訴訟関連費用 ▲17
			他 +7		プロジェクト生準費 ▲10
			固定費換算差 ▲21		事業基盤強化他 ▲19
計	+172	+102	+78	▲292	▲149

連結当期純利益の変動要因 [対前期実績]

(単位：億円)



連結所在地別セグメント 売上高・営業利益

日本：国内大型トラックの台数増により増収も、材料市況の悪化等により大幅減益。

アジア：台数減により減収減益も、車両価格改善/トータルサポート拡大により、利益率は+0.3P改善。

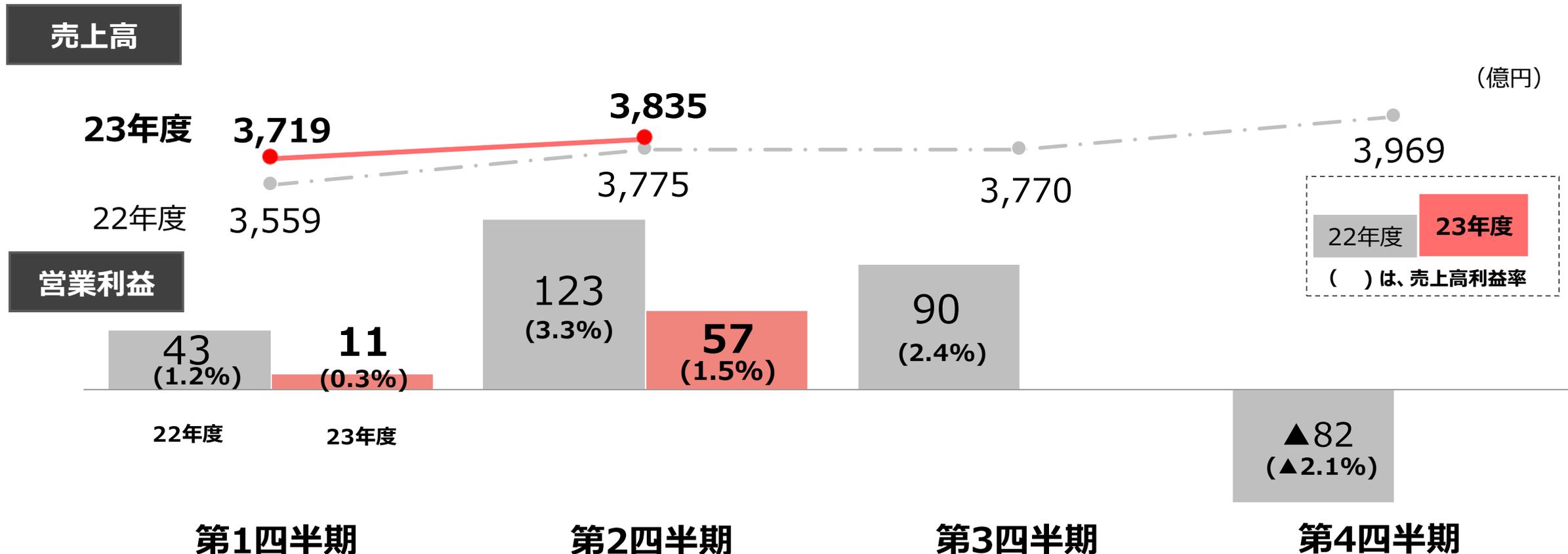
その他地域：主として北米の台数増により増収、収益は材料/労務費インフレ等は継続するも前年比増益。

(単位：億円)

	23/上		22/上		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日本	5,154	▲68 (▲1.3%)	5,032	76 (1.5%)	+2.4%	-
アジア	2,365	216 (9.1%)	2,621	229 (8.8%)	▲9.8%	▲5.9%
その他地域	1,487	▲63 (▲4.2%)	1,225	▲75 (▲6.1%)	+21.3%	-
調整	▲1,452	▲17	▲1,544	▲64	+92	+47
計	7,554	68 (0.9%)	7,334	166 (2.3%)	+3.0%	▲59.3%

() は、売上高営業利益率 増減欄の%は、対前年増減率

連結四半期別売上高・営業利益推移



為替レート	22年	23年
USD	125	135

22年	23年
137	144

22年	23年
144	-

22年	23年
133	-

1)23/上期 実績

2)23年度 通期見通し

23年度 業績見通し 前提条件

		23年度見通し		
		22年度実績	4/26公表	10/27公表
グローバル販売台数		144.6千台	159.0千台	138.0千台 (▲21.0千台)
	国内	36.2千台	43.0千台	40.0千台 (▲3.0千台)
	海外	108.4千台	116.0千台	98.0千台 (▲18.0千台)
トヨタ向け台数		127.9千台	129.1千台	119.8千台 (▲9.3千台)
為替 (年度平均)	USD	135円	130円	142円
	IDR(100)	0.90円	0.90円	0.94円
	THB	3.82円	3.80円	4.02円
	AUD	93円	88円	93円

連結損益の状況

(単位：億円)

(単位：億円)

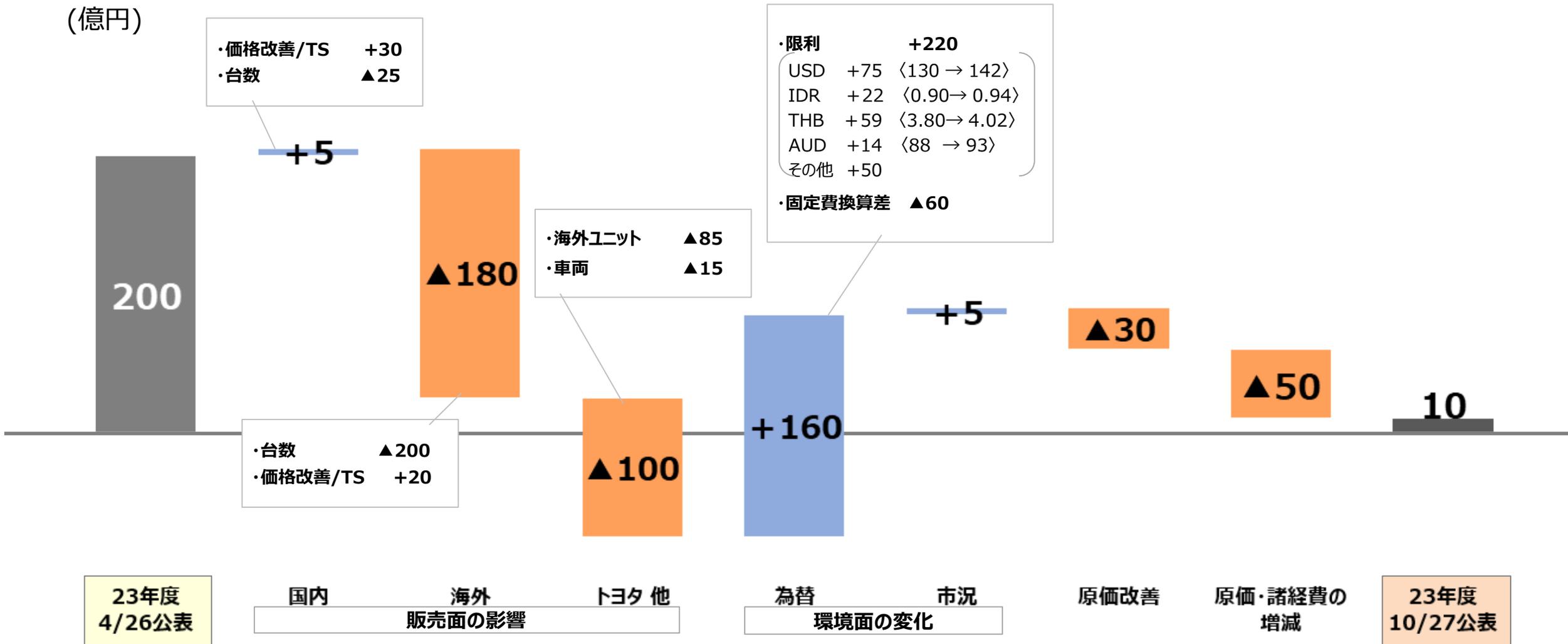
科目	(単位：億円)				(単位：億円)		
	23年度 10/27公表	23年度 4/26公表	増減	増減率	22年度 実績	増減	増減率
売上高	15,000	17,000	▲2,000	▲11.8%	15,073	▲73	▲0.5%
	(0.1%)	(1.2%)	(▲1.1p)		(1.2%)	(▲1.1p)	
営業利益	10	200	▲190	▲95.0%	174	▲164	▲94.3%
	(▲0.3%)	(0.9%)	(▲1.2p)		(1.0%)	(▲1.3p)	
経常利益	▲40	150	▲190	—	158	▲198	—
	(▲1.5%)	(0.6%)	(▲2.1p)		(▲7.8%)	(+6.3p)	
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲220	100	▲320	—	▲1,177	+957	-

() は、売上高利益率

連結営業利益の変動要因 [対 期首公表]

営業利益 ▲190 (200 → 10)

(億円)



23年度
4/26公表

国内

海外
販売面の影響

トヨタ 他

為替

市況
環境面の変化

原価改善

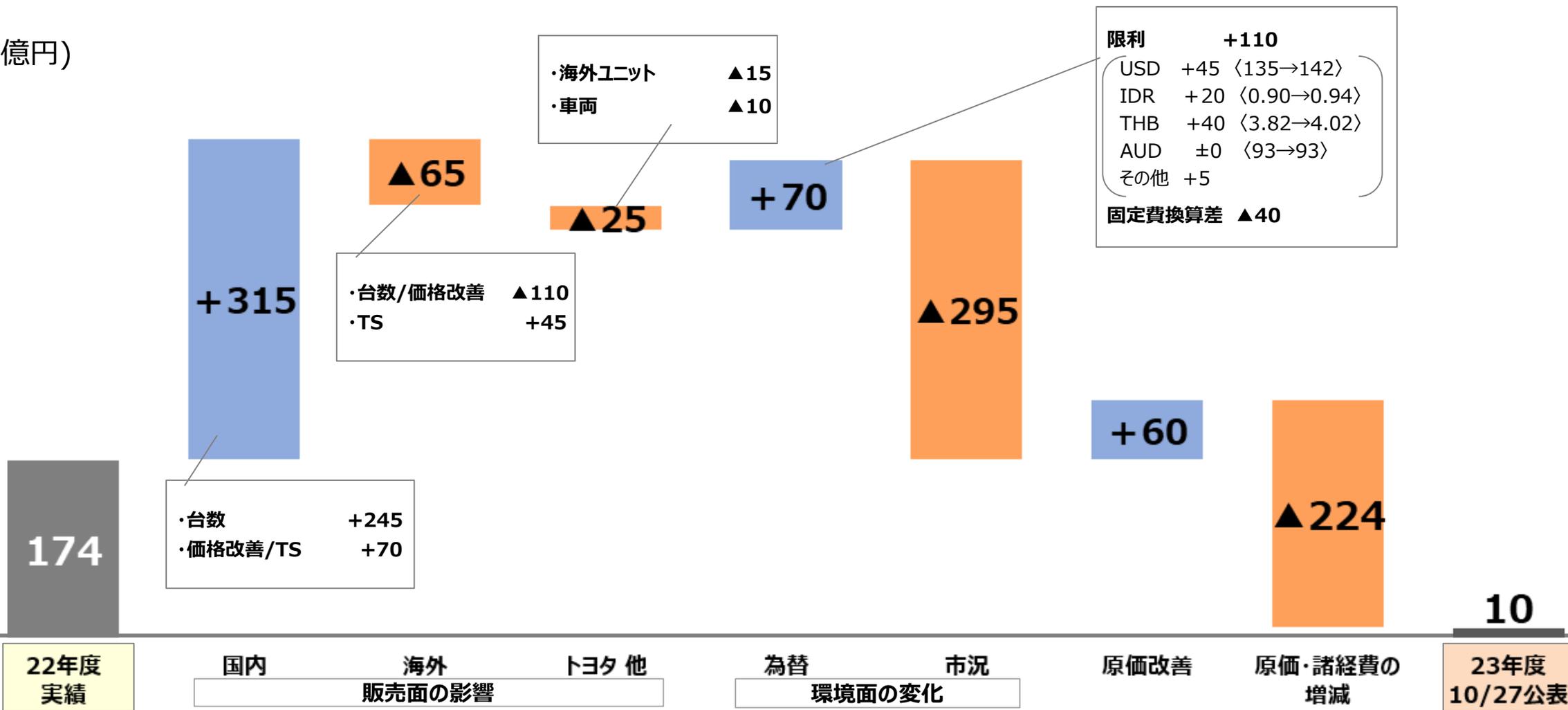
原価・諸経費の
増減

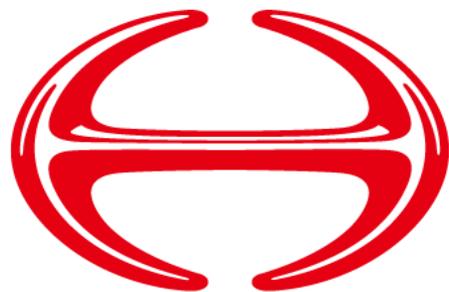
23年度
10/27公表

連結営業利益の変動要因 [対 前年実績]

営業利益 ▲164 (174 → 10)

(億円)





HINO

人、そして物の移動を支え、豊かで住みよい世界と未来に貢献する



コンプライアンスを徹底し、
誠実に行動します



安全・環境にこだわり、
未来の社会を支えます
品質・プロフェッショナルにこだわり、
お客様の事業を支えます



互いを尊重し、
安全安心な職場をつくれます